

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 29 日現在

機関番号：32614

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370212

研究課題名(和文)源氏物語の新たな本文関係資料の整理とデータ化及び新提言に向けての共同研究

研究課題名(英文) Reexamination of the Text of The Tale of Genji for Classification, Digitalization and Proposals

研究代表者

豊島 秀範 (TOYOSHIMA, Hidenori)

國學院大學・文学部・教授

研究者番号：90133272

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：『源氏物語』には、大きく青表紙本と河内本の二系統の本文が存在する。だが市販されている『源氏物語』の本文は藤原定家の手を経た青表紙本系統が殆どである。一方の河内本の本文の実態が十分に理解されていないことに原因がある。そこで、未公開の河内本の本文を翻刻し、別本を含めた三系統の重要な十数本の伝本を、5巻に渡り、巻ごとに比較可能な対校一覧を作成して公開してきた。平成19年度から25年度までの基盤研究(A)と(C)での7年間を含めると、巻数は15巻を越える。併せて、時期が来ればそれをウェブ上で公開するためのデータベース化の作業も進めてきている。

研究成果の概要(英文)：Texts of The Tale of Genji are roughly divided into two branches: Aobyoshi-bon and Kawachi-bon. Most published versions belong to Aobyoshi-bon, which dates back to a manuscript written by Fujiwara No Teika, whereas Kawachi-bon has not been fully studied yet. We have been transcribing texts of Kawachi-bon written in old Japanese letters into the ones in modern letters; we have compiled texts of five volumes of The Tale of Genji, which we have transcribed, so that we can compare the expressions of more than ten manuscripts in each volume. Including the seven volumes we had compiled in our project called Scientific Research (A) from Heisei 19 to 22 and (C) from Heisei 23 to 25, we have already completed fifteen volumes, and we also have been building up database of them, which we will put on our website in the near future.

研究分野：人文学

キーワード：源氏物語 河内本 平瀬家本 七毫源氏 岩国市吉川家本 青表紙本 別本

1. 研究開始当初の背景

(1) 『源氏物語』の本文に関わる全体的な研究は池田亀鑑の『校異源氏物語』(昭和17年)および『源氏物語大成』(昭和28年)をもってほぼ止まった状態にあるといってもよい。両書に収められた伝本は昭和13年までに発見されたもので、それ以後の80年間は空白のままである。その空白を埋めるべく、平成19年度～22年度までの基盤研究(A)、及び平成23年度～25年度の計7年間による共同研究を進めてきた。

(2) 昭和13年以降にも『源氏物語』の新たな本文は発見され続けている。併せて、池田亀鑑が最善本として『源氏物語大成』の底本とした大島本に対する本文上の疑念が研究者によって指摘されはじめている。

(3) それにも関わらず『源氏物語』本文の再検討が伸展しなかったのは、青表紙本・河内本・別本の主な伝本の比較が容易な、巻ごとの本文対校一覧がデータ化されていないからであって、その完成を急ぐ必要がある。それが、基盤研究(A)・(C)に引き続き、再び基盤研究(C)において研究を継続した理由である。

2. 研究の目的

(1) 本研究は、『源氏物語』の本文関係資料の収集と、その再検討と研究支援体制のさらなる確立を目指すことにある。

(2) 本文関係資料の再検討には、従来の本文に加えて、新たな写本の翻刻が必要である。さらには、新たに翻刻した本文を加えた本文対校一覧を、巻ごとに作成して、本文の比較を可能とするデータベース化が求められる。

(3) 連携研究者および若手研究者、さらには海外の研究者をも含めた共同研究会を開催して、各々のテーマに基づく研究発表と質疑応答を通して、各研究を深めていくことで、新提言へと向かうことを目的としている。

3. 研究の方法

(1) 翻刻により本文への感心を深める

多くの若手研究者が、新たな本文の翻刻作業を進めることで、従来のテキストとは異なる本文の存在を知り、関心を深め、研究発表へとつなげていく。

(2) 共同研究会の開催

連携研究者および大学院生を中心とする若手研究者を交えた共同研究会を通して、研究支援体制の拡大と定着をめざす。

(3) 研究報告書の作成

年度ごとに研究報告書を作成し、その年度の共同研究会で発表した研究成果を掲載して多くの研究者に送付することで、研究に関心と意見を寄せてもらうことで、さらに研究を深めていく。

4. 研究成果

(1) 研究の主な成果の公開

年ごとに研究成果を共同研究会で発表し

『報告書』に掲載し、研究者と研究機関へ約100通ほどを送付して意見を求めてきた。

(2) 現在までの成果

平成26年度以降で「若紫」「末摘花」「紅葉賀」「花宴」「葵」の5巻について、翻刻と本文の対校一覧を作成して3冊の『報告書』に掲載し、併せて、そのデータベース化を行った。これらは、前年までの「基盤研究(A)」と「基盤研究(C)」との7年間の研究成果を継承するもので、主要伝本十数本の対校一覧と、そのデータ化が、『源氏物語』54巻のうち、15巻について完成したことになる。

(3) 今後の展望

平成19年度から平成28年度までの10年間(研究代表者の体調の都合で1年間を延長して合計11年間となる)の「基盤研究(A)」と2度の「基盤研究(C)」の継続が認められ、その間に公にした10冊の『報告書』により、一定の研究成果を公にすることができた。本研究と平行して『狭衣物語全註釈』(全11冊)の刊行も進めているが、物語本文に関する研究は地味で、忍耐と継続が求められる。しかし、それを完成することで、本文研究は大きく飛躍できるはずである。平成29年度をもって研究代表者(豊島秀範)が定年退職を迎え、科研費の研究は途切れるが、今後も別の方法を求めて、当該本文研究を継続し、完成させたいと思っている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計37件)

豊島秀範「資料翻刻『源氏物語』「花宴」「葵」翻刻比較」(共著)(「基盤研究(C)」研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2018.3.31. 212-266.

豊島秀範「河内本の本文の特徴 「紅葉賀」巻を中心に」(単著)(「基盤研究(C)」研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2018.3.31. 245-268

上野英子「源氏物語青表紙本の行方 四半本と六半本のその後を追う」(単)(「基盤研究(C)」研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』研究代表者:豊島秀範)2018.3.31. 70-100.

神田久義「定家本および明融臨模本の和歌書写様式」(単著)(「基盤研究(C)」研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』研究代表者:豊島秀範)2018.3.31. 34-47.

太田美知子「『源氏物語』蓬生巻の末摘花像の違いについて 十四の伝本から」(単著)(「基盤研究(C)」研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2018.3.31. 48-69.

豊島秀範「河内本の本文の特徴 「夕顔」「若紫」を中心に」(単著)(「國學院大學大学院紀要 文学研究科」第49輯)2018.3.20. 1-31.

上原作和「宇治十帖と作者・紫式部「出家作法」揺籃期の精神史」(単著)(『知のシリーズ 宇治十帖の新世界』)武蔵野書院 2018.3.16. 271-321.

豊島秀範「物語本文の研究『源氏物語』と『狭衣物語』と」(単著)(國學院大學『國學院雑誌』談話室)2018.3. 5-6.

上原作和「作歌の古典現代語訳はどのように推敲されたか」(単著)(共編著『古典文学の常識を疑う』)勉誠出版 2017.5. 108-111.

上原作和「『源氏物語』校訂本文はどこまで平安時代に遡及し得るか」(単著)(共編著『古典文学の常識を疑う』)勉誠出版 2017.5. 96-99.

上原作和「書評・越野優子著『国冬本源氏物語論』(『図書新聞』3290号)図書新聞社 2017.2.11. 5面。

豊島秀範「書評 西村亨著『新考 源氏物語の成立』」(単著)(『武蔵野文学』第64号)2016.12. 5-6

上原作和「資料 復刻・池田亀鑑著作集選/美しく悲しい安養尼のお話 上・下/嵯峨の月/笄の渡/落城の前/咲けよ白百合」
「解説・小説家・池田亀鑑の誕生 少女小説編」(単著)伊藤鉄也編『もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」』第3集)新典社。2016.9.30. 271-321.

豊島秀範「書評 西村亨著『新考源氏物語の成立』」(単著)(『図書新聞』)2016.9.10. 3面

上野英子「ふたつの定家本源氏物語と三条西家本 付、実隆文明本の転写本としてのこの文庫旧蔵本紹介」(単)(実践女子大学文芸資料研究所『年報』第36号)2016.3. 38-80.

豊島秀範「資料翻刻『源氏物語』「末摘花」「紅葉賀」翻刻比較」(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2016.3.31. 99-340.

上原作和「東海大学桃園文庫蔵零本「浮舟」巻本文の位置」(単著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2016.3.31. 17-33.

豊島秀範「河内本の本文の特徴「若紫」巻を中心に」(単著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2016.3.31. 249-290.

神田久義「「おもほす」と「おぼす」の偏向」(単著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2016.3.31. 34-52.

豊島秀範「『源氏物語』空蝉巻の本文「おもほす」「おぼす」の用例を中心に」(単著)(『むらさき』研究余滴 紫式部学会編 武蔵野書院)2015.12.1. 75-77.

②④田坂憲二「『源氏釈』古筆切三葉について」(単著)(慶應義塾大学藝文学会『藝文研究』第109号)2015.12. 253-271.

②⑤上原作和「文学史上の『竹取物語』」(単著)(竹取物語の新世界 知の遺産シリーズ1)武蔵野書院 2015.10. 1-20.

②③上原作和「帝の求婚とかぐや姫の昇天」(単著)(竹取物語の新世界 知の遺産シリーズ1)武蔵野書院 2015.10. 79-98.

②④田坂憲二「『蒙求和歌』と『源氏物語』」(単著)(武蔵野書院『王朝文学と東ユーラシア文化』)2015.10. 205-226.

②⑤上原作和「大島本『源氏物語』本文注釈学と音楽史」(単著)(『考えるシリーズ 知の挑発 源氏物語の方法を考える 史実の回路』)武蔵野書院 2015.5. 335-364.

②⑥豊島秀範「河内本の本文の特徴「夕顔」巻を中心に」(単著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2015.3.31. 283-309.

②⑦上野英子「文芸資料研究所蔵『伊勢物語の歌絵』併せて九州大学中央図書館蔵『源氏物語歌絵』に及ぶ」(単)(実践女子大学文芸資料研究所『年報』第34号)2015.3. 232-250.

②⑧上野英子「三条西源氏学における本文形成史(1)」(単著)(実践女子大学文芸資料研究所『年報』第35号)2015.3. 30-67.

②⑨上野英子「定家本と漢字表記」(単著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』研究代表者:豊島秀範)2015.3.31. 82-99.

③⑩上原作和「阿仏尼本「帚木」巻本文の宗本的性格」(単著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2015.3.31. 54-67.

③⑪豊島秀範「遠州の憧れた定家本の世界 すぐれた書承と創作と」(単著)(遠州流 小堀遠州顕彰会『天霽』第36号)2014.12月号 10-16.

③⑫豊島秀範「葬儀の衣装 シロからクロへの変容」(単著)(新聞 陸奥新報「津軽の人と暮らし」13)2014.12.19.1200字。写真2枚。

③⑬上原作和「「ついたちごろのゆふづくよ」の詩学 桃園文庫「浮舟」巻別註と木下宗連書入本」(単著)(『国語と国文学 特集・源氏物語研究の展望』東京大学国語国文学会・明治書院)2014.11.1.

③⑭上原作和「諸本分類の歴史的規準 附・池田亀鑑「佐渡と源氏物語」」(『古代文学研究 第二次』古代文学研究会 発行)2014.10.19. 56-57.

③⑮上野英子「『源氏物語間書』における三説をめぐって」(単著)(実践女子大学文芸資料研究所『年報』第33号)2014.3. 260-277.

③⑯上野英子「伊勢物語と【表記情報学】『伊勢物語の歌絵』を軸として」(単著)(科研費報告書 研究代表者:今西裕一郎『日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究』)2014.3. 173-199.

③⑰豊島秀範「翻刻資料『源氏物語』「空蝉」「夕顔」本文対校表」(共著)(『基盤研究(C)』研究報告書『源氏物語本文のデータ化と新提言』)2014.3.31. 1-256.

〔学会発表〕(計35件)

豊島秀範「國學院の学問 國學院大學の歴史と未来 大学草創期から現在へ」(単)(國學院大學特別講座 於：國學院大學) 2017.12.12.

豊島秀範「学問をするということ」(単)(國學院大學大学院入学試験説明会講演 於：國學院大學) 2017.12.9.

豊島秀範「物語本文の展開 『源氏物語』と『狭衣物語』」(単)(平成29年度 國學院大學 国文学会秋季大会 於：國學院大學) 2017.11.18.

豊島秀範「求婚と嫉妬 葵の上・六条御息所・紫の上」(単)(國學院大學院友会大阪支部・若木育成会 於：大阪天満宮) 2017.8.27.

豊島秀範「源氏物語 鈴虫巻を読む」(単)(國學院大學公開古典講座 於：國學院大學) 2017.7.21

豊島秀範「源氏物語 花にかたどられた女性たち」(単)(平成29年度 國學院大學 伝統文化に学ぶ講座 大阪 共催：國學院大學関西國華会 後援：大阪市教育委員会) (於：ホテルアヴィーナ大阪) 2017.7.17.

上原作和「山の端近き心地する」薫「椎本」巻の語りと歴象想像力」(単)(物語研究会例会 第395回 於：学習院大学) 2017.4.16.

田坂憲二「『源氏釈』古筆切拾遺」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

上原作和「大島本『源氏物語』の本文史と注釈史再考」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

中村一夫「本文と外部徴表の相関性」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

伊藤鉄也「国文研蔵橋本本「絵合」「松風」「藤袴」について」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

太田美知子「『源氏物語』蓬生巻の末摘花像の違いについて 十四の伝本から」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

神田久義「明融臨模本の和歌書写様式」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

田坂憲二「戦後の与謝野源氏と谷崎源氏 出版文化史の視点から」(単)(全国大学国語国文学会 28年度冬季大会、公開シンポジウム「女性作家と『源氏物語』」於：大阪樟蔭女子大学) 2016.12.3.

豊島秀範「万葉びとの方略」(単)(國學院大學院友会 大阪府支部・若木育成会 於：大阪天満宮) 2016.8.29.

豊島秀範「絵に描かれた人と心 横笛巻」(単)(國學院大學公開古典講座 於：國學院大學) 2016.7.23.

豊島秀範「『伊勢物語』と東下り」(単)(國學院大學院友会 静岡県東部支部 講演会 於：三島市三島プラザホテル) 2016.6.18.

上原作和「継承される古典 『源氏物語』古注釈抄出本文から藤原定家編集・校訂本文を考える」(単)(物語研究会例会第385回 於：日本大学文理学部) 2016.4.16.

豊島秀範「河内本の本文の特徴 「紅葉賀」を中心に」(単)(基盤研究(C)「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第23回)」於：國學院大學) 2016.12.24.

豊島秀範「國學院大學の学問 草創期から現在へ」(単)(國學院大學特別講座 於：國學院大學) 2015.12.8.

①豊島秀範「万葉集 和歌と宴」(単)(國學院大學 院友会大阪支部 夏期講座 於：大阪天満宮) 2015.8.29.

②豊島秀範「日本の文化 和歌 に親しむ ところを詠もう」(単)(第60回九州地区神社保育講習会 於：佐賀県唐津シーサイドホテル) 2015.8.29.

③豊島秀範「贈答歌がひらくもの」(単)(國學院大學公開古典講座 於：國學院大學) 2015.7.24.

④豊島秀範「源氏物語 古典文学から男女共同参画を学ぶ」(単)(熊谷市男と女のセミナー。於：熊谷市男女共同参画推進センター) 2015.7.4.

⑤豊島秀範「河内本の本文の特徴 「若紫」巻を中心に」(単)(「基盤研究(C)」「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第22回)」於：國學院大學) 2015.12.19

⑥上原作和「東海大学桃園文庫蔵零本「浮舟」巻本文の位置」(単)(「基盤研究(C)」「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第22回)」於：國學院大學) 2015.12.19

⑦上野英子「三条西家源氏学における本文と注釈の形成史」(単)(「基盤研究(C)」「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第22回)」於：國學院大學) 2015.12.19

⑧伊藤鉄也「字母から見たハーバード本「須磨・蜻蛉」と歴博本「鈴虫」」(単)(「基盤研究(C)」「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第22回)」於：國學院大學) 2015.12.19

⑨中村一夫「類義語と本文異同」(単)(「基盤研究(C)」「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第22回)」於：國學院大學) 2015.12.19

⑩神田久義「「おぼす」と「おもほす」の偏向」(単)(「基盤研究(C)」「源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第22回)」於：國學院大學) 2015.12.19

⑪豊島秀範「遠州の憧れた定家の世界 すく

れた書承と創作と」(単)(茶道遠州流 小堀遠州顕彰会 秋季講演会 於：東京しごとセンター) 2014.10.13.

③②豊島秀範「柏木とその遺児についての描写」(単)(國學院大學公開古典講座) 2014.7.27

③③上野英子「源氏物語(三条西家諸本)の表記法について」(単)(「基盤研究(C)」源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第21回)) 於：國學院大學) 2014.12.13.

③④上原作和「阿仏尼本「帚木」巻本文の宗本的性格」(単)(「基盤研究(C)」源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第21回)) 於：國學院大學) 2014.12.13.

③⑤豊島秀範「河内本の本文の特徴 「夕顔」巻を中心に」(単)(「基盤研究(C)」源氏物語の本文資料に関する共同研究会(通算第21回)) 於：國學院大學) 2014.12.13.

〔図書〕(計18件)

豊島秀範『青森県史』(共編著)(民俗通史編 南部・下北・津軽)(担当=儀礼伝承人の一生) 2018.3.15. 712-722.

豊島秀範『狭衣物語「蓮空本」(巻二)の本文と注釈』(編著)研究代表:豊島秀範 國學院大學大学院特定課題研究助成金) 國學院大學大学院 2018.3.1. 1-410.

上原作和『古典文学の常識を疑う』(編著) 勉誠出版 2017.5. 全240頁

上原作和『論文演習 2017』(編著) 明治大学法学部国語科 2017.3.1. 全54頁。

伊藤鉄也『もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」』第3集、新典社、2016.9.20. 全350頁

上原作和『論文演習 2016』(編著) 明治大学法学部国語科 2016.3.1. 全48頁。

豊島秀範『狭衣物語「蓮空本」(巻一)の本文と注釈』(編著)研究代表:豊島秀範 國學院大學大学院特定課題研究助成金) 國學院大學大学院 2016.3.1. 1-337.

上原作和『論文演習 2015』(編著) 明治大学法学部国語科 2016.3.1. 全33頁。

上原作和『日本琴學史』(編著) 勉誠出版 2016.2.27. 全600頁

上原作和『古記録文化論』(編著) 武蔵野書院 2015.11.7. 全432頁。

上原作和『竹取物語の新世界 知の遺産シリーズ1』(編著) 武蔵野書院 2015.10.20. 全220頁。

豊島秀範『源氏物語本文のデータ化と新提言』(共著)(「基盤研究(C)」研究報告書) 2015.3.31. 1-416.

豊島秀範『古文攻略 助動詞がわかれば古文は読める!』(監修) 小径社 2015.12.1. 1-68.

豊島秀範『狭衣物語全注釈』8(巻四上)(共著)(研究代表:豊島秀範) おうふう 2014.4.25. 1-467.

豊島秀範『青森県史』(共編著)(民俗編・津軽・第3部 担当=菅江真澄の日記・紀行

全16作品をCD-ROMに所収) 青森県発行 2014.3.31

上原作和『論文演習 2014』(編著)(明治大学法学部国語科) 2015.3.5. 全44頁。

上原作和『三橋正さんを偲ぶ』(編集)(三橋正先生お別れ会事務局) 桃源文庫 2014.3.1. 全100頁。

豊島秀範『青森県史』(共編著)(民俗編・津軽・第1部 担当=人生儀礼) 青森県発行 2014.3.31. 1-711.

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

<http://www2.kokugakuin.ac.jp/projectg/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

豊島 秀範 (TOYOSHIMA Hidenori)

國學院大學・文学部・教授

研究者番号: 9 0 1 3 3 2 7 2

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

田坂 憲二 (TASAKA Kenji)

慶應義塾大学・文学部・教授

研究者番号: 7 0 1 3 6 4 0 6

伊藤 鉄也 (ITO H Tetsuya)

国文学研究資料館・大学共同利用機関等の部局等・教授

研究者番号: 1 0 2 3 2 4 5 6

中村 一夫 (NAKAMURA Kazuo)
国土館大学・文学部・教授
研究者番号：5 0 4 0 7 1 9 4

上野 英子 (UENO Eiko)
実践女子大学・文学部・教授
研究者番号：6 0 2 0 5 5 7 3

上原 作和 (UEHARA Sakukazu)
桃園文庫日本学研究所・教授
研究者番号：0 0 5 8 1 0 5 0

(4)研究協力者

神田 久義 (KANDA Hisayoshi)
田園調布学園大学・兼任講師

太田 美知子 (OTA Michiko)
國學院大學・兼任講師

笹川 勲 (SASAGAWA Isao)
國學院大學・兼任講師

山本 真理子 (YAMAMOTO Mariko)
國學院大學大学院博士課程後期
単位取得退学